



2780地区

2026年4月19日

クラブリーダーシップラーニングセミナー CLLS

米山奨学委員会 地区事業とその現況

2026年4月19日(日)

地区米山奨学委員会 委員長
米山俊二 (平塚RC)

自己紹介

2780地区

氏名：米山俊二（よねやましゅんじ）
年齢：56歳
職業：株式会社ヨネヤマ 左官工事業
役職：代表取締役 社長
所属クラブ：平塚ロータリークラブ



現役職

平塚左官業組合 組合長
神奈川左官業組合連合会 平塚ブロック理事

歴職

2008年 公益社団法人 平塚青年会議所 第50代理事長

2015-2016年度 平塚ロータリークラブ入会

2018-2019年度 地区青少年委員会 委員出向

2022-2024 過去3年間 地区米山委員会委員

2025-2026 地区米山奨学委員会 委員長

2026-2027 地区米山奨学委員会 委員長



2780地区 米山奨学事業概要

米山奨学事業の概要

2780地区

- **日本のロータリー独自の事業**
 - (RIが定める全国34地区合同事業活動の手続き完了)
- **日本で学ぶ外国人留学生の支援
(公益財団法人を設立し運営)**
- **世話クラブ・カウンセラー制度**
交流を重視 “人を育てる事業”

ロータリー米山奨学金事業とは

日本のロータリー全地区による国際奉仕事業です。日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援することにより、日本と世界との平和の架け橋になる人材を育てています。

事業の使命

将来、日本と世界とを結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これはロータリーの目指す平和と国際理解の推進そのものです。

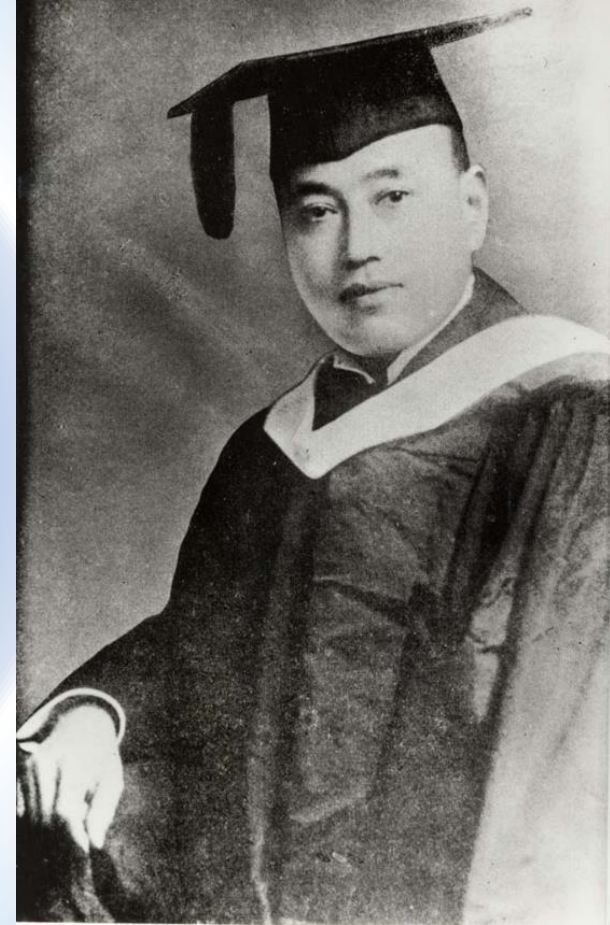
なぜ、外国人留学生を支援するのか？

この事業は1952年東京ロータリーが始めた「米山基金」に始まります。日本のロータリーの創始者である故・米山梅吉氏の生前の功績を讃え、後世まで残るような有益な事業を行いたいと考えて、海外から優秀な学生を日本に招き勉学を支援する奨学金事業です。その背景には二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、平和日本を世界に伝え、国際親善と世界平和に寄与したいという、戦後のロータリー会員の強い願いでありました。

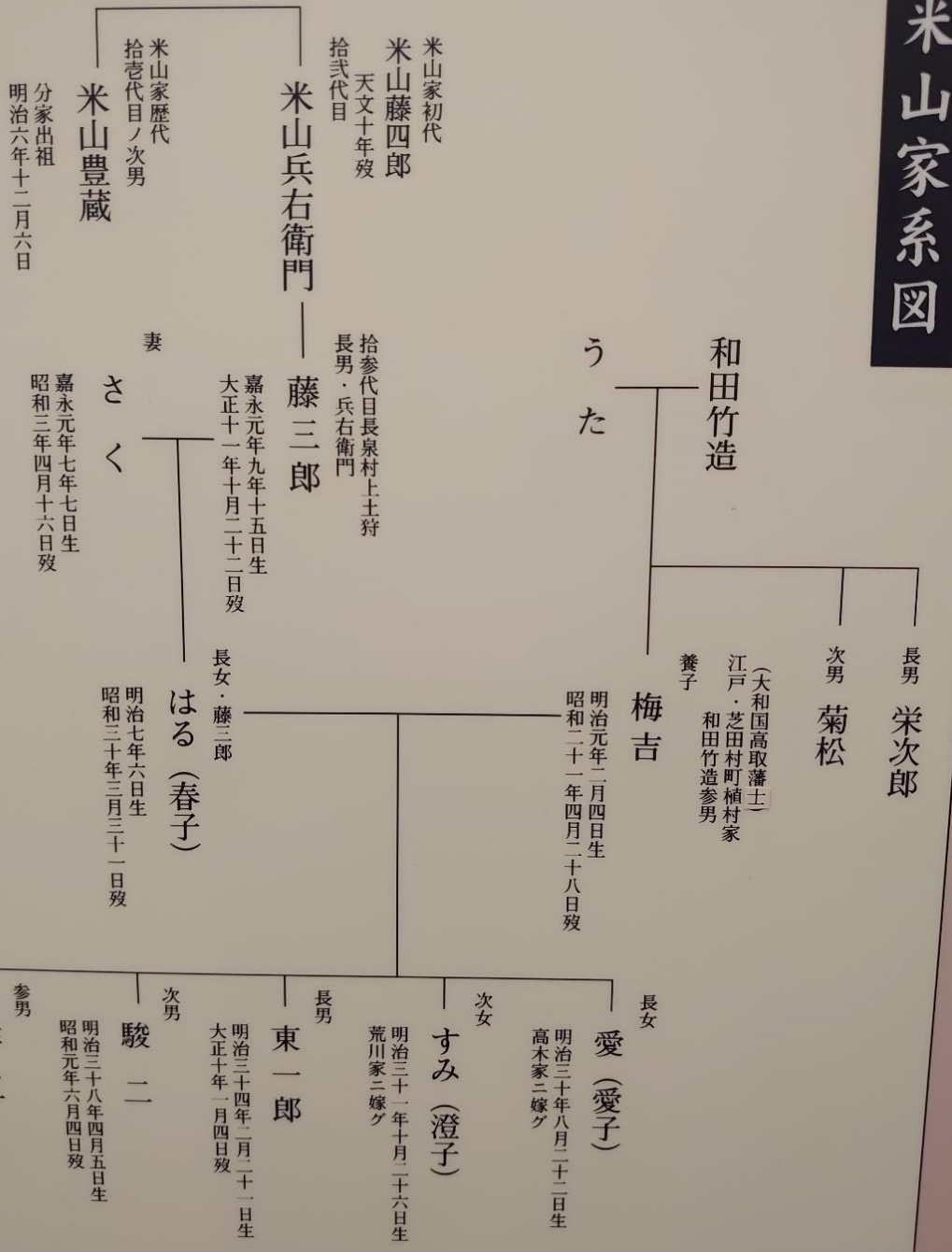
日本のロータリーの父

米山 梅吉氏 (1868-1946)

- ポール・ハリス氏と同じ1868年に誕生
- ダラスRC会員の福島喜三次氏と米国で出会い、1920年、日本で最初のロータリークラブ、東京RCを創立
- 日本初の信託会社、三井信託株式会社を設立



(米山家の祖・今川氏・北条氏領主の名主)

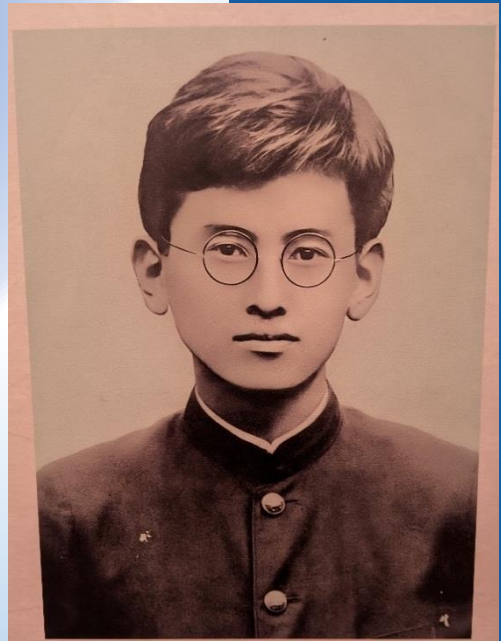


米山家系図



米山梅吉の子供たち

- 愛
長女
子
- 駿
次男
二
- 桂
参男
三
- 澄
次女
子
- 東
長男
一郎



次男・駿二 写真提供: 米山分家

日三十九年七月十八日生

曹洞宗大本山總持寺



第2590地区米山学友会總會米山梅吉翁墓参

「米山基金」から 70年

2022
米山基金創
設から70
年

2017
財団設立
50周年

1967
財団法人
設立

1957
日本全国の
組織へ

1949
日本のロータリーが
国際ロータリーへ復帰

1952

東京RCが
米山基金を發表
“平和日本”
を
世界へ

1946
米山梅吉氏
逝去

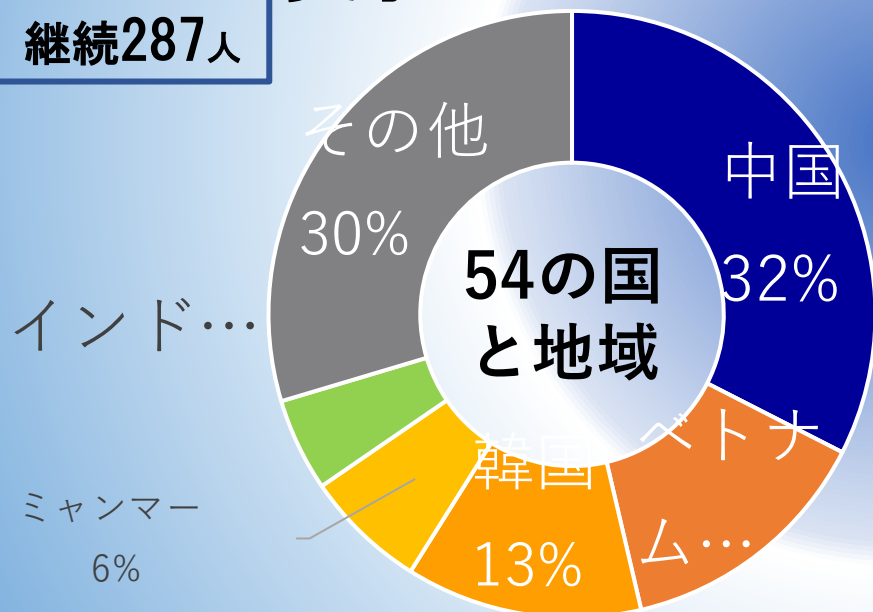


日本最大級の奨学生数

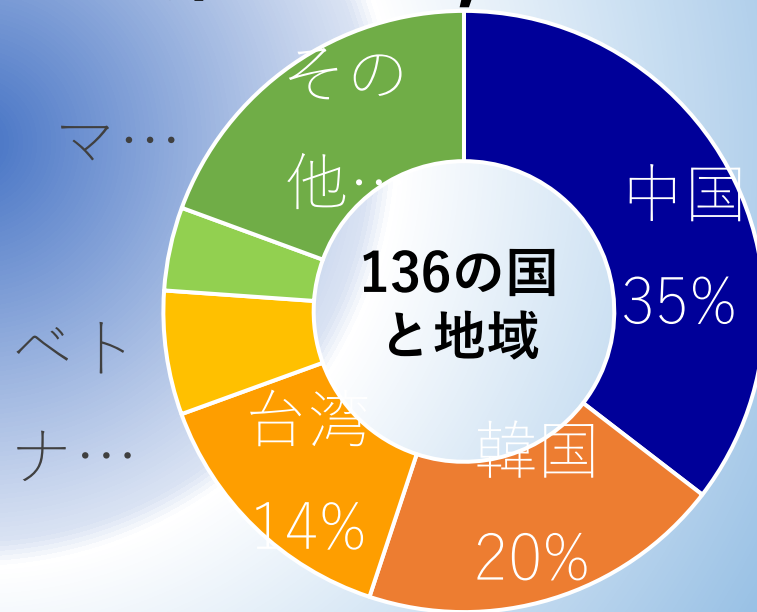
2026学年度：暫定人数

新規682人
継続287人

奨学生**969**人



累計**25,498**人



(上記は、2026年3月17日現在の数字。辞退者が発生した場合変動があります。)

地区の米山奨学生

2780地区

2026_{学年度} 31人

【出身国・地域】

中国、韓国、台湾、マレーシア
ベトナム、インドネシア
など



2026年度 国別奨学生数

2780地区

国籍	人数	国籍	人数
中国	8人	カンボジア	1人
韓国	6人	シンガポール	1人
マレーシア	5人	バングラデシュ	1人
ベトナム	4人		
台湾	3人		
インドネシア	2人		

合計 **31人**
2026年3月27日現在
2026年9月1日より海外応募者1名予定

過去5年間の奨学生数

2780地区

	新規奨学生	継続生	海外応募	合計
2022 学年度	23	10	1	34
2023 学年度	25 <small>(クラブ支援奨学生 1名含む)</small>	4	1 <small>(海外応募継続生)</small>	30
2024 学年度	25	6	0	31
2025 学年度	23	9	0	32
2026 学年度	18	13	1 <small>9月から海外応募予定</small>	31 <small>暫定数</small>



2780地区

米山奨学生 1年間の流れ

米山奨学生が決まるまで

2780地区

6月：米山記念奨学会で地区割当数を決める

7月：地区で指定校と被推薦者数を決める

8月：募集スタート指定校へ通知及びHPで指定校募集要項を発表

8月～10月：締め切り10月15日 指定校での学内選考と申込み

11～12月：書類選考

12月：面接試験

1～2月：合否発表 同時に世話クラブを決めさせていただきます。

4月：オリエンテーション 確約書に署名 → 正式に米山奨学生に

奨学生数の募集と選考

2780地区

採用基準（全国统一）

- 勉学への意欲、人物面・学業面が優秀、将来日本との懸け橋になりうる人材
- 家庭状況、経済状況は評価対象外



留学の目的
将来の目標

交流への
熱意

人間性
人柄

コミュニケー
ション能力



地区裁量

新奨学生オリエンテーション

2780地区



新奨学生オリエンテーション

4月12日開催 次年度は4月4日開催

指定校説明会及び懇談会

2780地区



指定校説明会及び担当教諭懇談会
毎年7月 2026年7月17日開催

米山セミナー/カウンセラー研修会

2780地区



米山奨学セミナー/カウンセラー研修会
毎年8月開催 2026年8月30日開催

米山奨学生 終了式・歓送会

2780地区



終了式・歓送会
次年度は3月7日開催

米山奨学生 終了式・歓送会

2780地区





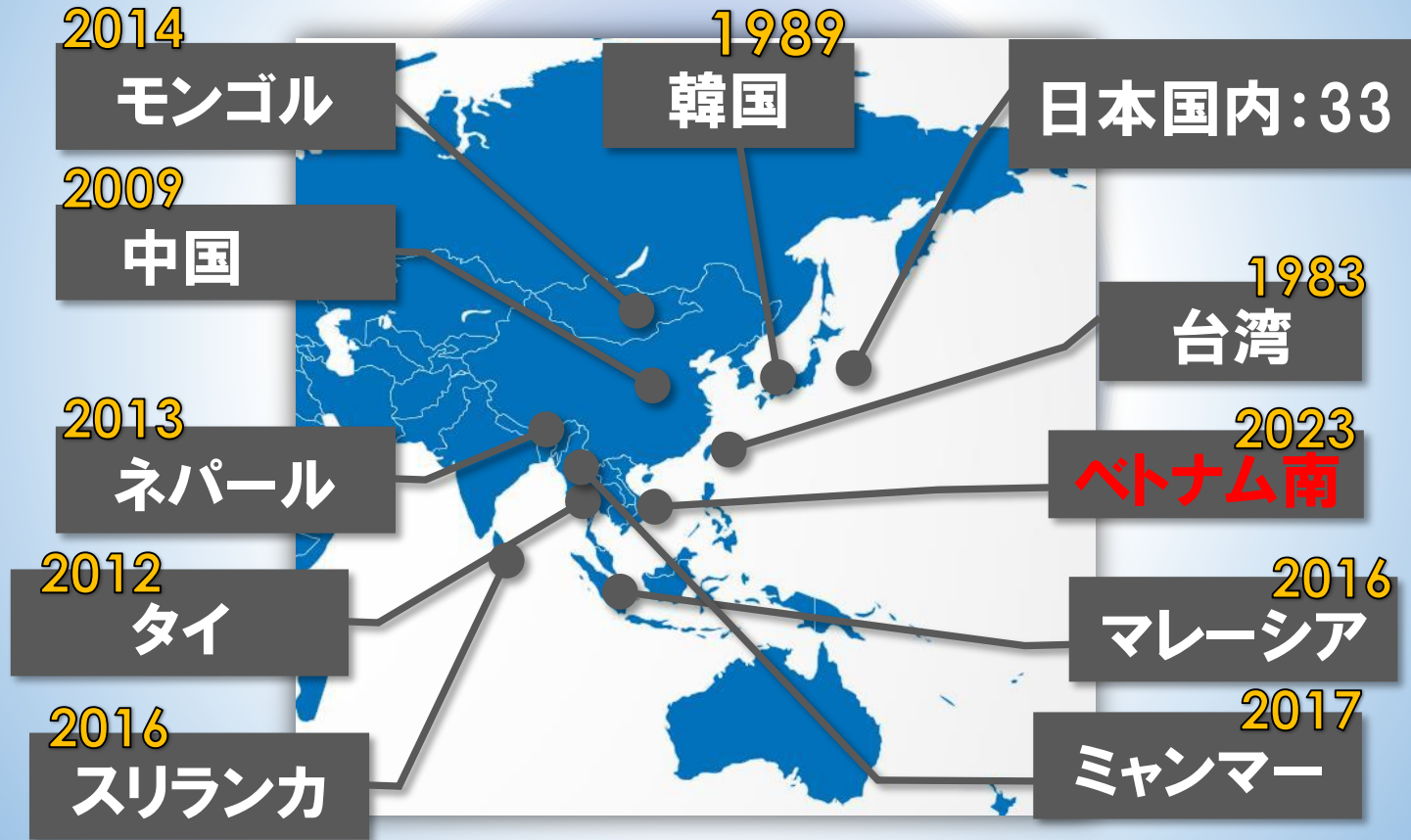
2780地区
米山学友会
事業及び活躍

ロータリーの学友とは

ロータリー 平和フェロー	ロータリー 財団	ロータリー平和センター提携大学で学ぶ最高130人が世界中から選ばれる
ロータリー 奨学生	ロータリー 財団	主に、グローバル補助金による奨学金（日本からの送り出しは約40人）
青少年交換学生	国際 ロータリー	15-19歳が対象の交換留学とホームステイ
ロータリー 米山記念奨学生	ロータリー 米山記念 奨学会	日本で学ぶ外国人留学生が対象

米山奨学生が終了すると**全員米山学友**となります

米山学友会 (国内33、海外10)



学友会の活動【国内】



2660 : レクイエム音楽祭



2800 : さくらんぼ狩り体験



2580・2590 : 梅吉翁の合同お墓参り



2620 : 海岸清掃活動

学友会の活動【海外】



台湾



マレーシア



スリランカ



タイ



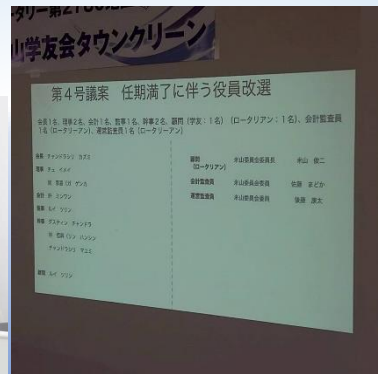
2023米山学友会第3回世界大会 「再会 in 関東」 つくばにて開催



米山学友会第4回世界大会
2026年12月4, 5, 6日台湾開催

米山学友会総会開催

2780地区



米山学友会総会

毎年7月 2026年7月12日開催

米山学友タウンクリーン

2780地区



2025年7月27日開催 次年度は9月13日開催予定
藤沢駅周辺タウンクリーン清掃事業
懇親会：中国料理煌蘭にて開催

奉仕交流事業

2780地区



2. 陳 妍如 テンケンジョ
中国 津久井中央



10. 謝 承軒 シャショウケン
台湾 三浦



7. ミヤクマドルンシ,
スフバト
モンゴル 相模原グリーン



5. グエン, ロック ミン
ベトナム 寒川



19. 白 伝森 ハク ウンビョウ
中国 大和中



3. 陳 蓉 チン ヨウ
中国 相模原ニューシティ



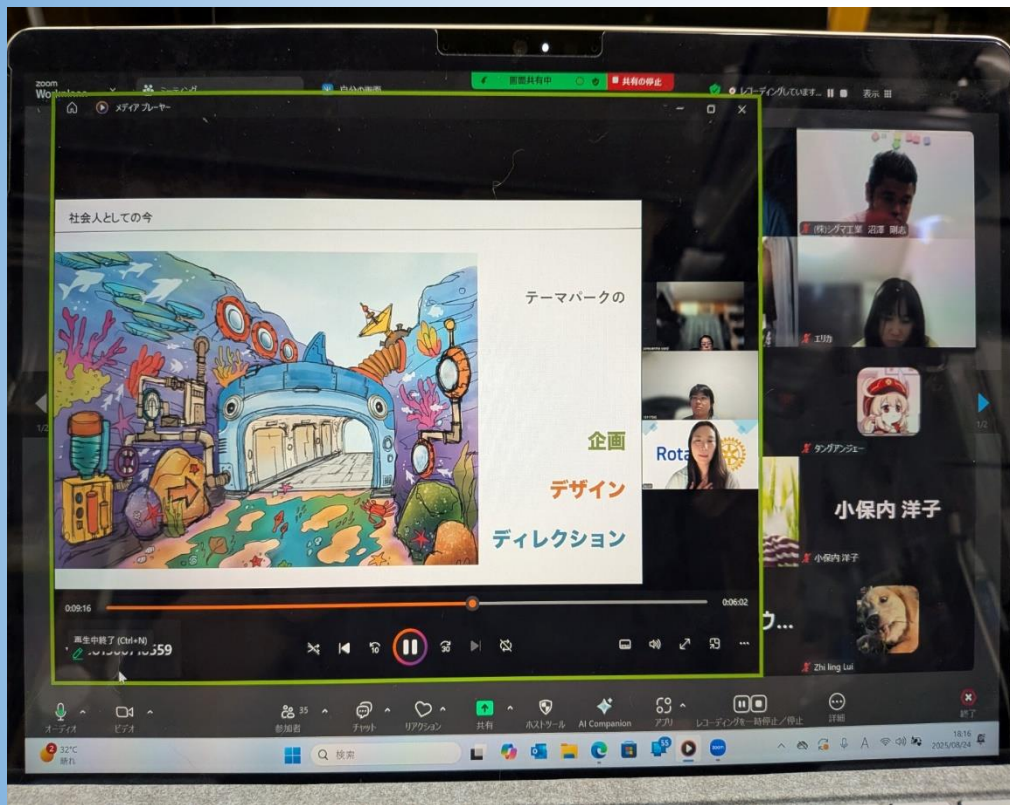
陸 泳江 リク エイコウ
中国 相模原西



米山タウンクリーン終了後の懇親会

学友による卓話指導

2780地区



米山学友による卓話指導

2026年8月22日ZOOM開催予定

米山学友会・奨学生合同事業

2780地区



地区大会お茶サービス
2025年9月7日開催

米山学友・奨学生合同事業

2780地区



地区大会お茶サービス
次年度は10月11日開催予定

研修交流事業

2780地区



米山一泊研修旅行
箱根観光・米山梅吉記念館・米山梅吉翁墓参

研修交流事業

2780地区



米山一泊研修旅行
箱根観光・米山梅吉記念館・米山梅吉翁墓参

国際交流会

2780地区



12月14日伊勢原中央公民館開催

第5回米山奨学生と同窓生の集い

2780地区



第6回は2026年5月16日に開催予定

第2580地区 米山学友会 (国内)

日本で最初の米山学友会。
7月6日、40周年記念総会が
開催された。米山学友59人、
現役奨学生35人を含む
140人が参集。

楊子明(ヨウ, シメイ)さんが会長となり、
評議員の鈴木 喬氏が「米山梅吉氏と学友会」について、趙瑋琳(チョウ,
イーリン)さんが「アジアの激変、挑戦と輝く未来」について講演、奨学
生・学友による演奏、民族舞踊等が披露された。





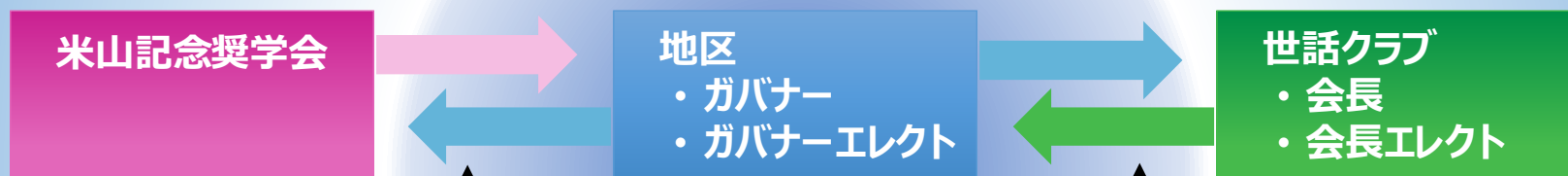
世話クラブの役割

- ・奨学生の合否が決まった後、奨学生の例会出席希望曜日交通の便等を考慮し世話クラブを決定させていただきます。
- ・奨学生には単に奨学金を支給するだけではなく、人生経験豊かなロータリー会員が1対1でカウンセラーとしてケアにあたります。
- ・奨学生は世話クラブ全体での交流を通じて、ロータリーの精神を学び、その活動や日本人の心に触れる機会が与えられます。
- ・このようなロータリーとの交流を通じて、ロータリーの奨学生としてふさわしい学生に導き育てることも世話クラブとカウンセラーの役割になります。

業務委託・覚書の締結

2780地区

2020学年度からスタート、毎年実施



毎年
12~2月

業務委託に係る覚書

原本(2部)は、
①ガバナー事務所
②米山奨学会
で保管

毎年
2~3月

業務委託に係る覚書 (世話クラブ)

原本(2部)は、
①ガバナー事務所
②世話クラブで保管。写し
をPDFで奨学会へ提出

世話クラブの委託業務内容

2780地区

- 例会への奨学生招待・奨学金支給
- カウンセラー選任
- 奨学生との交流、親睦、ケア
- 奨学生レポートのカウンセラー所見
- 世話クラブ補助費管理（6万円）
- 奨学生資格確認報告（継続奨学生）
- 奨学生関係変更届
- 奨学生卓話
- 米山月間：寄付増進
- 寄付金送金及び管理（クラブ米山記念奨学委員長の手引きP.5）

クラブ米山記念奨学委員長の役割

2780地区

1 奨学事業の理解促進

- ・ 米山事業関係行事に参加し、意義と感動をクラブ会員に伝える
- ・ 米山月間などに関係プログラムを企画する

2 寄付増進のためのアイデアを考え、推進する

3 奨学生・学友との交流

- ・ 奨学生・学友はクラブ全体で受け入れ、多くの会員との交流ができるように図る（クラブ委員長の手引きP.7）

奨学金制度で新しく変わったこと

2780地区

- 世話クラブ例会時に手渡しする奨学生への奨学金は通常の手渡しに加え銀行振り込みが可能になった。
- 米山学友会チューター制度が始動。
国別や大学別に分かれ、学友が奨学生の世話をする。
- 世話クラブにお渡しする奨学生の為の助成金が4万5千円から6万円にアップ
- 世話クラブエントリーが出来るようになりました。
(是非とも積極的なエントリーをお願い致します)

奨学生に関わる危機管理

2780地区

自然災害



病気・事故



ハラスメント



地区米山奨学委員会→危機管理委員会へ報告・対応

地区単位
のLINE
グループ等

2020学年度
より現役奨学
生の傷害保険
(例会出席時)

奨学生
→ハラスメント
相談窓口

ロータリアン
→賠償責任保険

ボランティア誓約書

2780地区

(第2780地区認定) 新世代育成ボランティア誓約書

I-II

国際ロータリー第2780地区ガバナー 様

国際ロータリー第2780地区 青少年(新世代を含む)と接する際の行動規範

地区は、ロータリーの活動に参加するすべての青少年のために安全な環境をつくり、これを維持するよう努めています。ロータリーの会員、その配偶者、その他のボランティアは、接する児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは心理的な虐待から身の安全を守るため、最善を尽くす責任があります。

1 本誓約の目的

私は、国際ロータリー第2780地区(以下「地区」という)ないし所属するロータリークラブが実施する新世代育成プログラムにボランティアとして参加するにあたり、地区が同プログラムに参加する新世代に対する肉体的・精神的・性的な虐待を防止し、全ての新世代の安全な環境を確保するという地区の青少年と接する際の行動規範を遵守する目的の下、犯罪歴のある者その他不適正なボランティアを排除するため、ボランティア参加希望者から個人情報の提供と誓約を求める趣旨を理解し、身元保証人の署名を添えて本誓約書を提出します。

2 個人情報の提供

私は、前項の目的のため必要となる私の個人情報(別紙個人情報一覧表記載のとおり)を任意に提供します。私は、その個人情報 が真実かつ正確であることを保証します。私がボランティアとして地区の活動に参加する期間中に、地区から上記個人情報の追加や更新を求められたときには、速やかに提供します。

3 誓約

- (1) 私は、ボランティアとして地区の活動に参加する上で、地区及び関係するロータリークラブの定款・細則・方針ないし指示に従うことを誓約します。
- (2) 私は、本書により提供した個人情報について、地区が個人情報保護法その他の法令に従って適切に管理される限りにおいて、その取扱に関して何らの異議も述べず、損害賠償請求もしないことを誓約します。

以上

年月日 (西暦)	2023年 月 日	携帯電話	
住所	〒	メール	
氏名(署名)		生年月日 (歳)	年 月 日 (歳)

身元保証人1		身元保証人2	
年月日 (西暦)	年 月 日	年月日 (西暦)	年 月 日
住所		住所	
氏名(署名)		氏名(署名)	
携帯電話番号		携帯電話番号	
本人との関係		本人との関係	

※ 身元保証人2名の内1名は、ロータリーの会員でも可能、その他1名は部外者であること

地区使用権 >

- 1 地区及び所属クラブは、本誓約書により提供を受ける個人情報について、個人情報保護法その他の法令を遵守し、新世代育成プログラムに限定して利用します。
- 2 本誓約書については、地区危機管理委員会が窓口として取り扱います。

責任者：第2780地区危機管理委員長 石田 隆



2780地区 寄付金の状況

ご寄付は奨学事業に

2024-25年度は、寄付金収入が約1億1,500万円の減少



過去五年間寄付金納入の推移

2780地区

年度	今期 普通寄付	今期 特別寄付	今期 グループ 合計	会員数	個人平 均	普通寄付金 累計額	特別寄付金 累計額	寄付 累計額
2020 年 2021 年	11,070,500	34,205,300	45,275,800	2,306	19,634	496,510,150	1,719,375,714	2,215,885,864
2021 年 2022 年	10,962,500	36,504,297	47,466,797	2,264	20,965	507,472,650	1,755,880,011	2,263,352,661
2022 年 2023 年	10,973,000	36,270,340	47,243,340	2,315	20,407	518,445,650	1,792,150,351	2,310,596,001
2023 年 2024 年	11,449,500	34,778,530	46,228,030	2,369	19,513	529,895,150	1,826,928,881	2,356,824,031
2024 年 2025 年	11,392,000	37,350,500	48,742,500	2,336	20,865	541,287,150	1,864,279,381	2,405,566,531

米山 | 年間寄付金 会員 | 人 **2万円以上目標**

寄付金の種類

2780地区

普通寄付

地区またはクラブで決めた金額×会員数

特別寄付

個人・法人等普通寄付金以外に
任意でいただく寄付です。

※寄付金は所属クラブより送金

2780地区会員1人目標額20,000円

個人の表彰

2780地区

・特別寄付金の累計額が対象です。

累計金額	名称	表彰品
3万円	準米山功労者	なし
10万円	米山功労者	感謝状
20万円	マルチプル	感謝状
50万円	マルチプル	感謝状＋ 銀バッチ
100万円以上	メジャードナー	感謝状＋ ルビーバッチ

2780地区

学友・学友会から米山奨学会への寄付

131,979,553円累計

※2025年6月末の実績

出身別・地域別

- 1 中国 91,273,767円 61人
- 2 台湾 31,226,001円 47人
- 3 韓国 3,513,000円 23人

義援金

東日本大震災被害地区への寄付

約7,600,000円

熱海土砂災害義援金

約1,500,000円

令和6年能登半島地震義援金

約3,000,000円

恩返しの気持ち

♥ 学友からの寄付

東日本大震災

約760万円

熊本大地震

約20万円(上海)

学友からの寄付

累計 3,980万円

遺言寄付

200万円

熱海土砂災害

台湾から約150万円

能登半島震災

ベトナム・台湾
スリランカ等 約300万円



毎月1万円、毎月2,000円などコツコツ継続寄付する学友も



2780地区

米山奨学事業を継続するためには

・奨学生・学友は、人生経験が浅くまだ未熟であります。当地区の奨学生の中でも大学で進級が出来なかったり、奨学生期間中に犯罪に手を染めたものも過去にはありました。

また、精神的に不安定となり連絡がつかなくなった例もありました。

地区委員会、そして世話クラブ・カウンセラーが情報を共有し、奨学生たちが将来母国と日本との架け橋になる可能性を無くさない事が大切です。

年に1度以上の現役奨学生・奨学終了生との交流

【地区の場合】

学友同窓会の開催 各国学友会への勧誘

学友会名簿の整理

【世話クラブの場合】

クリスマス会など大きな交流事業に世話クラブ内歴代奨学生を招待(海外在住の方はzoom参加)等

米山奨学金事業の目的

2780地区

米山の一番の財産は、米山学友だと言われております。

奨学生期間が終了したら、そこからが本当のスタートです。

米山奨学生が将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成する事です。

米山は一人の人生を変え、その人が世界を変える事を願っています。

米山奨学事業のシンボルマーク



重なり合うハートは「ロータリアン」と「奨学生」です。

外国人留学生の支援・交流を通じて国を超えた
信頼関係を築き、世界の平和を願う“心”を育てるという、
事業創設の願いが込められています。

手は、そうした“心”を生み出すと同時に、
当事業がロータリアンの手で支えられていることを示しています。

ご清聴ありがとうございました

